

二三七一番

心こころには 千重ちへに思おもへど 人ひとに言いはぬ 我あが恋妻こひづまを
見みむよしもがも

二三七二番

かくばかり 恋こひむものそと 知しらませば 遠とほく
見みべくも ありけるものを

二三七三番

何時いつはしも 恋こひぬ時ときとは あらねども 夕ゆふかた
まけて 恋こひはすべなし

二三七四番

かくのみし 恋こひや渡わたらむ たまきはる 命いのちも
知しらず 年としは経へにつつ